



患者さまと市立小樽第二病院をつなぐ広報誌

しんらい

信 頼

第4号
2008年
3月

平成20年3月10日第2版 市立小樽第二病院広報委員会 発行責任者：馬淵正二



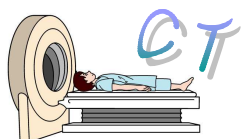
高性能CT導入！ —患者さまのためにできること—

市立小樽第二病院では、新しい64列マルチスライスCTが3月3日から稼動しました。この新装置は診断面で多くの情報を提供し、その活躍が今から期待されるところです。

CTは人体の輪切りの像を見ていく装置です。今回稼動する64列マルチスライスCTは、いろいろな角度からの画像を見ることができ、心臓や脳の血管の立体表示や解析、大腸の仮想内視鏡などができるようになり、診断に果たす役割は大変に大きいと期待しています。

また、短時間で広範囲の撮影ができ、救急患者さまなどにも威力を発揮し、放射線被ばくも少なくすることができます。

この装置の特性を最大限に生かして安全で質の高い検査を行い、市民の皆さまのニーズにお応えすべく職員一同努力してまいります。



放射線科 技師長
やまもと ていじ
山本 悌二



【市立小樽第二病院 基本理念】

『市民本意の医療を行い、地域に根ざした市民に信頼される病院を目指します』

— 基本方針 —

- 1) 24時間365日、救急医療を積極的に推進します。
- 2) 安全な医療を提供できるように、職員の安全教育を強力に推進します。
- 3) 患者さまの人格、信条を尊重し、患者さまに優しい医療を提供します。

新型高性能CT導入！

— 64列マルチスライスCTの大きな特徴 —

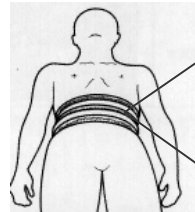
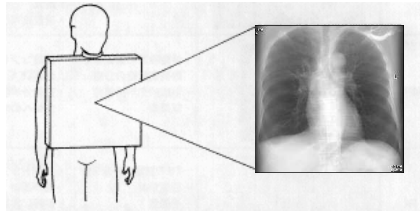
新型高性能CT「64列マルチスライスCT」が当院放射線科に導入されました。

「64列マルチスライスCT」は何が違うのか、また、患者さまに何ができるのかをご説明します。

CTとは

体にX線をあて、その信号をコンピュータで処理し、身体の輪切り（断層面）を見る装置です。

単純X線撮影
透過像



CT
断層像

今回導入される64列マルチスライスCTは、従来のCTとどこが違うのか

CTは1972年に発表されてから、X線診断の上で多くの進歩をしてきました。

従来のCTは人体の横断面（輪切り）の像を見ていく装置でしたが、血管の3次元表示（立体的）などできるようになりました。

今回導入される64列マルチスライスCTの大きな特長として

- 1回転0.35秒の高速撮影が可能
- 身体を0.5mm間隔で撮影し、緻密な検査が可能
- 短時間で広範囲の撮影が可能
- 横輪切り画像だけではなく立体的画像をつくり、さまざまな角度からの画像を描出可能

などがあります。



従来のCT画像（腹部大動脈分岐部付近）

○で囲んだ部分が「動脈瘤」。血管が膨らんでいることはわかりますが、血管の中の状態はわかりません。枝分かれている血管の表面も滑らかです。

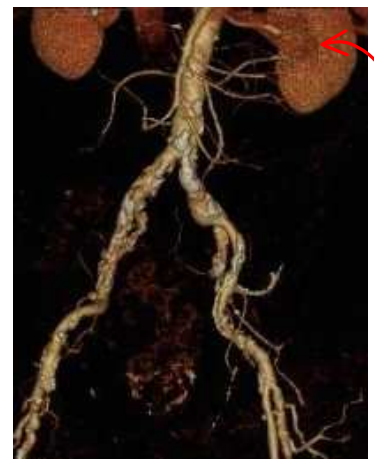
64列マルチスライスCTが可能にすること

この性能を利用し、短い息止め時間で広い範囲の撮影が可能となります。また撮影速度が速いため、今までできなかった心臓の撮影（常に動いているので撮影が難しい）が可能となり、心臓の血管である冠動脈（かんどうみゃく）も描出することができます。

また、同時にいろいろな画像の作成や解析ができるコンピュータシステムを使い、血管の位置関係や血管が狭くなったり硬くなったりしている場所などを知ることができるほか、細かな血管の撮影も可能なことから、手術前のシュミレーションができるようになり、手術支援の面でも期待されます。

放射線被ばくの面でも、患者さまの撮影する場所により自動的に放射線の量を調整する機能があり、放射線被ばくの低減が図られます。

このほか、検査に使用する造影剤の量も少なくすることができます。



腎臓（左）

64列マルチスライスCT画像（腹部大動脈分岐部付近）血管上に白くボコボコと見えるのが血管壁の石灰化で、この中は血の流れる部分が狭くなっています。この画像を基に石灰化している血管の部分の断面を表示することもでき、血管のつまり具合もわかります。

診断・治療への利点

当院では脳卒中・心筋梗塞・大動脈瘤・下肢静脈瘤など、脳疾患・心血管疾患を中心に診療していますが、今回導入した64列マルチスライスCTにより、これまでよりも大幅に診断の精度を向上させることが可能になります。

利点①：患者さまの負担軽減

→心筋梗塞や大動脈瘤破裂など、重症の病気で息止めが難しい状態でも、きれいな画像を得ることができます。また、少量の造影剤で検査を行うことができますので、造影剤の副作用を抑えることができます。

利点②：広範囲に及ぶ疾患を一括検査

→胸部・腹部にまたがる病気や、足全体に病気を有している場合など、広範囲に及ぶ疾患でも1回の撮影で全体像を正確に把握できるようになります。また、頭の検査と胸の検査などを1回で済ませることができます。

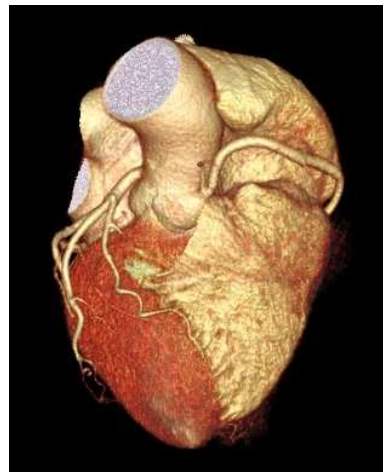
利点③：微細な病変も見逃さない

→全身の動脈について、狭窄や閉塞している病変の位置を、これまでよりも正確に把握することができるようになります。また、とても細かく撮影するので、これまでは分からなかった細い血管の病気を見つけることが可能になります。

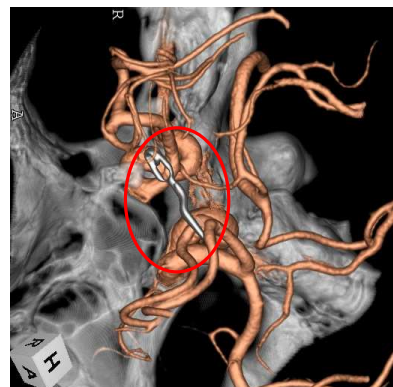
これ以外にも、従来は心臓や脳の血管の病気を正確に診断するためには『カテーテル検査』を必要とすることが多かったのですが、新型CTによりカテーテル検査を受けなくても、かなり詳しい病気の状態が把握できるようになります。

このように、64列マルチスライスCTが診断・治療にもたらす利点はとても多く、来院された患者さまのために大きく貢献することが期待されます。

また、多くの市民が利用できるように、市内各医療機関との連携を図るなど準備を進めます。



64列マルチスライスCTによる
心臓の立体画像
(表面の血管は冠動脈)



64列マルチスライスCTによる
脳血管の撮影(○で囲んだ部
分が血流を止めるクリップ。)

「小樽雪あかりの路」(第二病院会場)

夏は観光客でにぎわう小樽も、冬は雪の音が聞こえそうなほどひっそりと静まりかえります。

人々も心をとざしがちになる「冬」を逆手にとって、心温まるイベントをつくろうと10年前にスタートしました。

第二病院でも手作りの雪像やワックスボウルにキャンドルをともし、「静」を楽しむ光景となりました。



ロウで作るワックスボウル作成風景

メイン雪像「プーさん」



第二病院

患者満足度 アンケート調査を行いました

当院では、患者さまにとってより良い病院とするため、昨年末に「患者満足度アンケート調査」を実施しました。その集計結果を報告いたします。

「満足」「やや満足」「普通」「やや不満」「不満」の5段階で回答いただいたうち、「満足～普通」の割合  と「やや不満～不満」とお答えいただいた方の割合  をグラフで示しました。

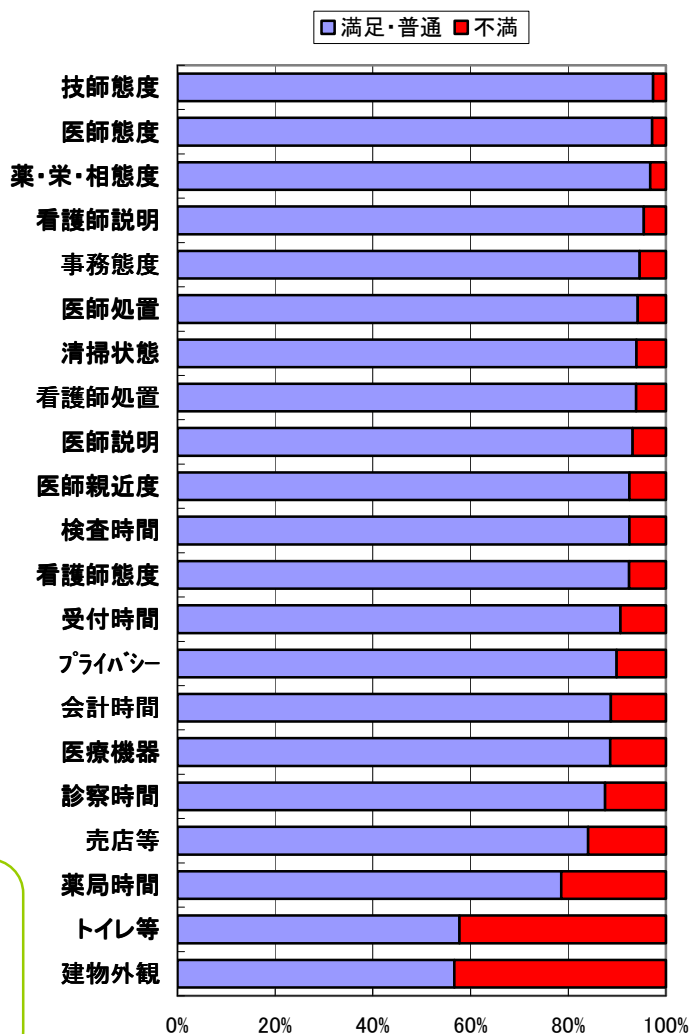
◎建物の外観・トイレについて不満に思っている患者さまが多いことがはっきりしています。可能な限り修復作業は行っておりますが、そのほかにも整理の徹底や掲示物の見直しなどによる院内環境の改善に努力してまいります。

◎待ち時間に対する不満も多かったため、このアンケート結果を医師を含めた全スタッフとともに検討、改善に向け努力してまいります。

◎その他コメントについてのご返答など、詳しくはホームページをご覧ください。

今回、皆さまから頂いた貴重なご意見は、今後の病院運営の参考にさせていただきます。

アンケートにご協力くださった皆さまに心よりお礼申し上げます



お知らせとお願い

敷地内完全禁煙となります

4月1日より病院敷地内（精神科病棟内の喫煙室・デイケア棟を除く）を完全禁煙とさせていただきます。屋外喫煙所は廃止し、駐車場・玄関前も禁煙となります。

愛煙家の方には申し訳ありませんが、ご自身の健康と周囲の方への受動喫煙の防止のため、敷地内禁煙にご理解とご協力をお願いいたします。



雪あかり（第二病院会場）

ご覧ください

市立小樽第二病院 ホームページ

小樽第二

検索



[http:// www.med-otaru.jp/dai2hp/index.html](http://www.med-otaru.jp/dai2hp/index.html)

◆受付時間 午前 8 時 40 分～／午後 1 時 30 分～

◆休 診 日 土・日曜日、祝日、年末年始

発行：市立小樽第二病院

〒047-0036 小樽市長橋 3 丁目 11 番 1 号

電話(0134)33-4151・ファックス(0134)32-6347